

# 「愛されたい妻と尊敬されたい夫」

著者：エマソン・エグリッチ

- ・対象：結婚している男性・女性
- ・方法：夫婦を対象とした、または男性だけ、女性だけのグループ読書会に
- ・回数：各章を1回ずつとして、24回  
(または、数章をまとめて1回として行うこともできる)

## 1. この本を読むにあたって

**著者：**エマソン・エグリッチ

1951年生まれ。フィートン大学とデュバク神学校より修士号、ミシガン州立大学より博士号。牧会を経て、1999年より「ラブアンドリスペクト・ミニストリーズ」代表。妻サラとの間に成人した1男2女がいる。

**出版社：**ファミリー・フォーラム・ジャパン

**出版年：**2010年

**本の要点：**

「妻は愛されたい、夫は尊敬されたい」。この基本的なニーズが満たされると、夫婦関係は円滑に回り、満たされないと「狂ったサイクル」に乗ってしまう。「夫は妻を愛し、妻は夫を尊敬する」。これができたら、「活性化サイクル」が回り始める。単純ですが、これは聖書に基づく教えで、科学的裏付けがあり、その効果は絶大です。

本書の目的は、からまり合った夫婦間のコミュニケーションを解きほぐし、夫婦が本来の機能を回復できるように助けることです。基本のみことばは、エペソ人への手紙5章33節「あなたがたも、おのおの自分の妻を自分と同様に愛しなさい。妻もまた自分の夫を敬いなさい」です。

「夫は、キリストが教会のために命を捨てたように、妻を愛しなさい」という説教を聞くことは多くありますが、「妻は、キリストに従うように無条件に夫を尊敬しなさい」と教えられることはめったにないのではないのでしょうか。しかし著者は、妻の愛と夫の尊敬の両面があって初めて、夫婦の「狂ったサイクル」が止まり、「活性化サイクル」が動き出す、また、結婚生活は相手との問題ではなく、あなたとキリストとの問題なのだ(「報酬サイクル」)と主張してします。(「翻訳者あとがき」より)

## 本の内容：

本書は、壊れている、あるいは壊れかけている夫婦のコミュニケーションを回復させるための働きとして用いられている「愛と尊敬セミナー」の中で、分かち合われている内容です。セミナーに参加した多くの夫婦からの便りやメールが、多数紹介されていることも、本書の魅力のひとつです。以下の4つの章から成り立っています。第1部から第3部までは、「妻の立場」から、そして「夫からの立場」から語られています。

### ①第1部「狂ったサイクル」

第1部では、なぜ、愛し合っていたはずの夫婦の会話が食い違い、すれ違い、お互いを理解できなくなっていくのか。そしてそれは次第にエスカレートして行き、「狂ったサイクル」と名付けられた負のスパイラルに陥っていくのかを丁寧に説明してくれます。

### ②第2部「活性化サイクル」

第2部では、妻と夫とを別々に扱い、互いに相手に対して「どうして欲しいと願っているのか」を具体的に知ることができます。伴侶に対して「こうしなさい」と命じるのではなく、「私はこうして欲しいと願っています」と説明することで、夫婦が互いをよりよく知ることができるように導いてくれます。

### ③第3部「報酬サイクル」

第3部では、このミニストーリーの中心的なテーマである「愛と尊敬」を実践していく時、どのような報酬（神の恵み）を経験できるか、を教えてください。特に「結論」では、「ピンク+ブルー=パープル」という数式を紹介し、夫婦の物の見方、考え方がいかに違うかという、新しい夫婦の視点を与えてくれます。しかしその違いを理解して向かい合う時、素晴らしい関係が生まれることを約束してくれています。

### ④付録 A～E

この付録には、「愛と尊敬」を実践する上で、大切な自己診断、確認すべきことのリストなど、大変有用な資料が提供されています。

## 2. 確認コーナー

①第2部では、夫に対し、妻に対し、それぞれに「考えるヒント」が用意されています。

- ・各章を学び終えた後、質問に答えながら、共に分かち合しましょう。

②付録A～Eに、様々な質問が用意してあります。

- ・質問に答えながら、共に分かち合しましょう。